

**製品名: PMS2 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM82537**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	95.8kDa

**抗原情報**

遺伝子名	PMS2
別名	MLH4; PMSL2; HNPCC4; PMS2CL
遺伝子 ID	5395.0
SwissProt ID	P54278
免疫原	大腸菌で発現したヒト PMS2 (AA: (431-580)) の精製組換え断片。

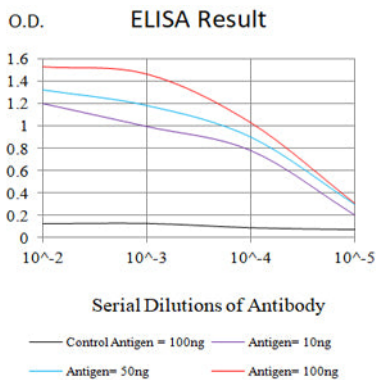
**背景**

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、DNA 複製および相同組み換えの際に起こりうる DNA ミスマッチや小さな挿入・欠失を修正するミスマッチ修復システムの主要構成要素である。このタンパク質は、mutL ホモログ 1 (MLH1) 遺伝子の遺伝子産物と

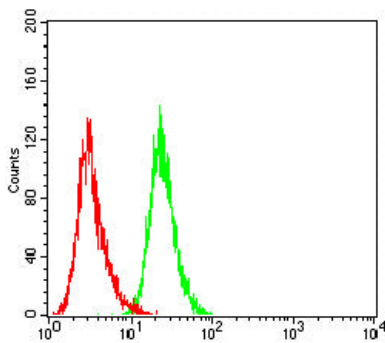
ヘテロ二量体を形成し、MutL- $\alpha$  ヘテロ二量体を形成する。MutL- $\alpha$  ヘテロ二量体は、MutS- $\alpha$  および MutS- $\beta$  ヘテロ二量体によるミスマッチおよび挿入/欠失ループの認識後に活性化されるエンドヌクレアーゼ活性を有し、ミスマッチ DNA の除去に必須である。この遺伝子によってコードされるタンパク質の C 末端には、ヌクレアーゼの活性部位の一部を形成する DQHA(X)2E(X)4E モチーフが存在する。この遺伝子の変異は、遺伝性非ポリポーシス大腸癌 (HNPCC、リンチ症候群としても知られる) およびターコット症候群と関連付けられている。

## 研究分野

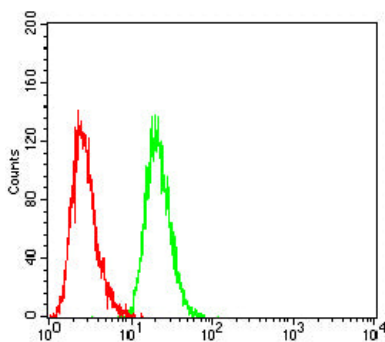
## 画像データ



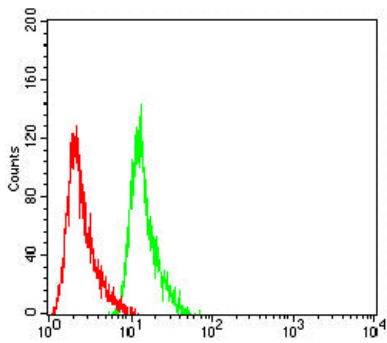
黒線: コントロール抗原 (100 ng) 紫線: 抗原 (10 ng) 青線: 抗原 (50 ng) 赤線: 抗原 (100 ng)



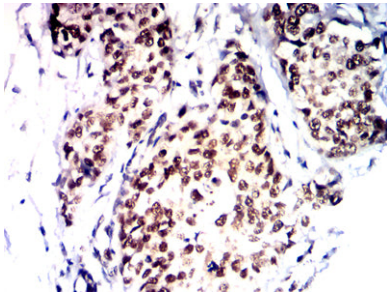
PMS2 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した A431 細胞のフローサイトメトリー分析。



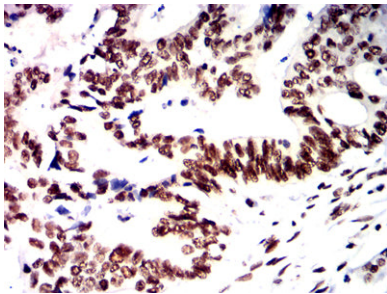
PMS2 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した Hepg2 細胞のフローサイトメトリー分析。



PMS2 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した NIH3T3 細胞のフローサイトメトリー分析。



PMS2 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト膀胱癌組織の免疫組織化学分析。



PMS2 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト直腸癌組織の免疫組織化学分析。